

第 21 回日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議

共同メッセージ(仮訳)

【2021 年 5 月 3 日 バーチャル形式】

1. 我々は、日本の麻生太郎副総理兼財務大臣の議長の下、第 21 回日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議を開催した。本会議は、新型コロナウイルス(COVID-19)のパンデミックのため、オンラインで実施された。
2. 我々は、現下の世界・地域経済の動向や、新型コロナウイルスのパンデミックの影響から景気回復を進めるための政策努力、及び ASEAN+3 金融協力の進捗について意見を交換した。域内経済の見通しは、継続的な政策支援やワクチン接種の拡大を背景に改善してきている。しかし、経済の回復は、各国間・各国内でばらつきがあるとともに、不確実かつ高まった下方リスクにさらされているため、我々は警戒を続けるべきである。このような背景の下、我々は、支援を幅広いものから、最も影響を受けた人々に的を絞ったものへと移行しつつ、包摂的な回復を達成し、長期的な財政の持続可能性を保ち、金融の安定を維持するために、必要な支援策を実施することにコミットする。我々は、開かれた、ルールに基づく多角的な貿易・投資システムを維持することへのコミットメントを引き続き堅持する。中国、日本及び韓国は、域内経済の堅調な回復及び持続的な成長に向けて協働するため、3か国間及び ASEAN 諸国との間での協力及び意思疎通を更に向上させていくことにより、ASEAN+3 財務プロセスにおいてリーダーシップを示す。
3. 域内を取り巻く不確実性の高まりに鑑み、我々は、チェンマイ・イニシアティブ(CMIM)の即応性確保の重要性を強調する。我々は、2020 年 9 月の歴史的な成果を反映した CMIM 契約書の改訂が、2021 年 3 月 31 日に発効したことを歓迎する。CMIM改定契約書には、①IMF デリンク割合の 30%から 40%への引き上げ、②要請国・供与国双方の自発性及び需要に応じた CMIM における現地通貨による支援の制度化が含まれる。我々はまた、昨年行われた第 11 回テストランが成功裡に完了したことを歓迎する。これらの努力に基づき、我々は、提案されている第 12 回テストラン及び CMIM の将来の方向性に関する建設的な議論とともに、CMIM の新たな参照金利の 2021 年末までの導入及び現地通貨の活用の手続を含む、CMIM 運用ガイドラインの今後の改訂を通じて、CMIM の即時性及び実効性を向上させる上での更なる進展を期待する。構造的課題やその域内の経済・金融の安定への深遠な影響への対応がますます求められていることに鑑み、我々は、ASEAN+3 地域金融セーフティネットを強化するイニシアティブを探求する。
4. AMRO が設立 10 周年を迎えるにあたり、我々は、域内のマクロ経済サーベイラン

ス強化、CMIM の実施支援及び ASEAN+3 メンバーに対する技術支援の提供における AMRO の著しい進展を称賛する。特に、我々は、新型コロナウイルスのパンデミックの激動期及びパンデミック後のニューノーマルにおいて、時宜を得た分析、リスク評価及び政策提言を行い、持続的な景気回復及び経済・金融の安定に向けてメンバーを支援する、AMRO の継続的な努力を歓迎する。この観点から、我々は、AMRO のサーベイランス活動を更に強化する、国別サーベイランス協議のためのガイダンスノートの改訂を歓迎する。我々は、更新された「中期実施計画 (MTIP) : 2021-2025」を歓迎するとともに、AMRO に対し、組織能力の強化を継続し、より成果に基づく機関となるよう慫慂する。我々は、今後 10 年間やその先も、AMRO が地域にとってより良く有能な「信頼のおける家庭医」となる上での我々の強い支援を再確認する。

5. 我々は、「アジア債券市場育成イニシアティブ (ABMI) 中期ロードマップ 2019-2022」の下、ABMI の継続的な進展を認識するとともに支持する。我々は、パンデミックにおける困難な状況にもかかわらず、現地通貨建て債券の発行を促進するために信用保証・投資ファシリティ (CGIF) が努力を継続していることを称賛する。我々は、アジア債券オンライン (ABO) の継続的な改良や、ASEAN+3 債券市場フォーラム (ABMF) の下での市場統合に向けた着実な進捗及び「ダブルミスマッチ問題」の現状と今後の方策に関する新たな調査の立ち上げを歓迎する。我々は、クロスボーダー決済インフラ・フォーラム (CSIF) の下で構築された、香港金融管理局と日本銀行によるクロスボーダー・デリバリー・バーサス・ペイメント (DVP) リンクの立ち上げを歓迎する。我々は、ASEAN+3 地域における担保の活用を更に促進する、アジアプライム担保フォーラム (APCF) の進展を評価する。
6. 我々は、「ASEAN+3 財務プロセスの戦略的方向性」に沿って、新たなイニシアティブのための潜在的な分野を更に探求する、4 つのワーキング・グループ (WGs) の設立を歓迎する。3 つの WGs を主導する国として、我々は、域内の経済成長・地域統合を促進するために、WGs の活動を円滑に進めることにコミットする。
7. 我々は、ASEAN 事務局と世界銀行の協力の下、ASEAN 諸国の災害リスクに対する財務強靱性を向上させる東南アジア災害リスク保険ファシリティ (SEADRIF) の継続した取組を歓迎する。我々は、SEADRIF の最初の成果物としての自然災害保険、及び、公共財産保護プログラムの進展を歓迎する。
8. 我々は、2021 年 ASEAN+3 財務大臣・中央銀行総裁会議の共同議長としての韓国とブルネイのリーダーシップに感謝する。また、我々は、来年開催される第 25 回 ASEAN+3 財務大臣・中央銀行総裁会議において、共同議長を務める中国とカ

ンボジアを支援することに合意する。

9. 我々は、日中韓財務大臣・中央銀行総裁会議が、政策対話と連携を高めるための効果的な場として役割を果たすと確信し、2022年にスリランカ・コロンボにおいて再会することを決定した。